

心の向かう場所

李彦奇

教育学部 交換留学生 中国

私は、小さい頃から世界に好奇心を持ち、異なる文化や生き方を知りたいと思っていた。長い年月がたった今も、私は未知の世界に限りない憧れを抱いており、常に異文化の輝きを浴び、その異国の地にいる喜びを満喫することを夢見ている人だと思っていた。ところが、飛行機がついに関西空港に着陸した時、思ったほど喜んでいない自分に気が付いた。むしろ、心の中には何とも言えない恐怖が漂っていた。これから、生活の些細な出来事を一人で対処出来るだろうか、はじめて出会う言語がコミュニケーションの障害にならないだろうか、更にこれから始まる 365 日の中で次々続く挑戦に勝つことが出来ないのではないだろうかと恐れている自分がいた。

和歌山行きのバスに乗って、私は考え込んでいた。同時にこの見知らぬ場所に対して好奇心も満ちていた。

時は流れる水のように静かに過ぎ去り、あっという間に 2 ヶ月を和歌山で過ごした。

この時間は長くはないが、来たばかりの頃抱いていた疑問にはっきりと答えてくれるには十分だった。

和歌山は心の向かう場所だった。

朝の光が出始めたとき、部屋のカーテンを開けると、積み重なる山並みと澄みきった空が目飛び込んでくる。その青と緑が織りなす景色は、まるで自然の母の暖かい懐のようだ。夜の雨の後には、空気の中に細かい水滴が漂い、湿った空気がすがすがしい。清新な空気の中で、青草と土の香りが漂い、気持ちがいい。

和歌山の夕日はまるで金色の薄い紗のようで、手を伸ばせば届くくらい雲と接している。夕日はゆっくりと地平線の後ろに落ちて、まるで今日の私に「別れ」を告げ、また明日の私に「こんにちは」と言っているようだ。



和歌山は大阪や京都のように騒がしくはない。外国人の目に映るような場所はないが、独自の趣がある。和歌山の街を歩いていると、慌ただしい足取りもバスの中の人混みも見えない。多くの人が子供たちや子犬と一緒に道端をのんびり散歩している。午後 3 時ごろ、私たち学生は一緒に歩いて帰る。誰も急いで帰る人はいない。みんなで輪になって、歓談して笑っている。ここでは、人々は生活をゆっくりと過ごし、刻々と変化する今を大切にしている。

この静けさと快適さこそが、私の恐怖心を落ち着かせ、ここのすべての瞬間を楽しいと感じさせてくれたものなのだ。私は足を止めて、地元の人と一緒に畑の小道をぶらぶらしたり、溪水のせせらぎを聞いたりして、自然の静けさを感じることを学んだ。またカフェ

の隅で、静かに周りのすべてを観察したり、人々の笑い声を聞いたりして、生活の素晴らしさを感じることを学んだ。

和歌山の日々の中で、私は成長し続け、独立と強さを学んだ。そしてここの静けさを楽しみ、ここの簡単な生活を楽しみ始めている。夜のとぼりが来るたびに、窓の前に座って、満天の星を見つめて、和歌山に属する夜の静けさを感じている。

「和歌山！」かつて私にとって未知に満ちていたこの場所は、今や私の生活の一部になっている。

この先の未来、私は、肥沃な土地で成長を続けたこと、探索を続けたこと、生活の無限の美しさを感じ続けたことを、ずっと忘れないだろう。

心之所向之地

李彦奇

教育学部 交换留学生 中国

从小，我就对世界充满了好奇，渴望了解不同的文化和生活方式。在悠长的岁月里，我怀揣着对未知世界的无尽向往，总梦想着能沐浴在不同文化的光辉之中，尽情享受那份异域的欢愉。然而，当飞机终于降落在关西机场，我并没有想象中那般欣喜若狂，反而心底泛起了一丝难以言说的畏惧。我害怕自己无法独自应对生活的琐碎，害怕那些陌生的语言成为交流的障碍，更害怕在那即将到来的三百六十五天里，我将无法战胜接踵而至的挑战。

乘坐开往和歌山的公交车，我陷入了沉思，心中对这个陌生的地方充满了好奇。

时光如流水般悄然逝去，转眼间，我在和歌山度过了两个月的时光。尽管这段时间并不漫长，但它已足够让我对初来乍到时的疑惑有了清晰的答案。

和歌山，心之所向之地。

晨曦初露之际，拉开房间的窗帘，映入眼帘的便是层叠的山峦和清澈的天空，那片蓝与绿交织的景致，宛如自然母亲温暖的怀抱。尤其在一场夜雨之后，空气中弥漫着细细的水珠，湿润的气息令人神清气爽。清新的空气中，青草和泥土的香味扑鼻而来，让人心旷神怡。和歌山的夕阳宛如金色的薄纱，与云层相接，仿佛一伸手便能触及。夕阳缓缓在地平线后落下，仿佛在与今天的我告别，又似乎在向明天的我说你好。

和歌山并不像大阪和京都那样喧嚣，它没有那些地方在外国人眼中的盛名，却有着自己独特的韵味。漫步在和歌山的街头，你不会看到匆忙的脚步，也不会看到公交车上拥挤的人群。取而代之的是，许多人和孩子们或小狗一起在路边悠闲地散步，下午三点左右，学生们结伴而行，无人急于回家，大家围坐一起，畅谈欢笑。在这里，人们放慢了生活的脚步，珍惜着每一刻的当下。正是这份宁静与闲适，让我逐渐克服了内心的恐惧，开始享受这里的每一刻。我学会了停下脚步，与当地人一起在田间小路上闲逛，聆听溪水的潺潺声，感受大自然的宁静。我也学会了在咖啡馆的角落，静静地观察周围的一切，聆听人们的笑语，感受生活的美好。

在和歌山的每个日子里，我都在不断地成长，学会了独立与坚强。我开始享受这里的宁静，享受这里的简单生活。每当夜幕降临，我都会坐在窗前，凝望着满天繁星，感受着属于和歌山的夜晚的宁静。

和歌山，这个曾经对我来说充满未知的地方，已经成为了我生活的一部分。我深知，未来的日子里，我将在这片肥沃的土地上继续成长，继续探索，继续感受生活的无限美好。